

〈佐呂間町民憲章〉

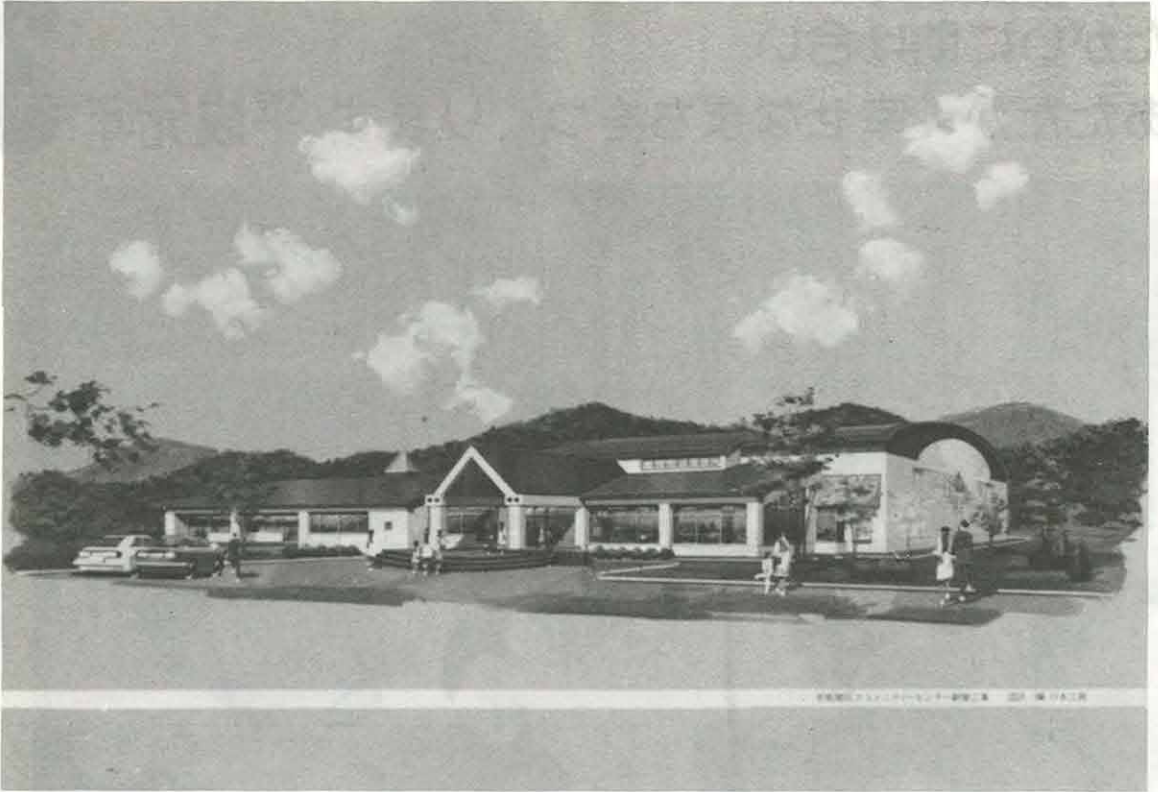
たがいに助け合い

あたたかく幸せなまちをつくります 平成元年

3



センター完成まぢか



(若佐コミュニティセンター完成予想図)

昨年から若佐市街に建設が進められていた、若佐コミュニティセンターは、あと一か月余りの工期となり、四月のオープンにむけ仕上げの段階に入っています。

同コミュニティセンターは、昭和四十一年に建設された若佐公民館が長年の歳月を経て老朽化したのに伴い、利用者の増加や多様化に対応し、地域の活動や生活文化の向上・社会福祉の増進等に利用していただくために建設されました。

新しく建てられるセンターは、ステージや音響設備を備える多目的ホールをはじめ、和室、会議室、図書室、事務室の外、料理講習会等ができる調理研修室が設けてあります。

また、住民の方が気軽に利用でき、くつろいでもらうために建物内に談話ホールを広く取るとともに、自家用車の利用を考え、乗用車七十台、大型車輛四台分の駐車場が作られます。

この建物の特徴として、トップライト（天窗）を設け、自然光の和らいだ明りを室内に取り入れるよう設計されています。

また、現在若佐公民館にあります役場若佐支所を移設し、四月一日より同センター内にて業務を行うこととなっております。

なお、センターの利用方法等くわしいことは、広報四月号でお知らせいたします。

若佐コミュニティ

コミュニティセンター概要

(計画事業費)

▼約二億円

(建物、用地、外構工事等)

(主要施設)

▼建物面積

一〇六八・三七㎡

▼構造

鉄筋コンクリート
平屋建

▼各室面積

・事務室

・会議室

・調理研修室

・図書室

・談話ホール

・多目的ホール

・ステージ

・和室

四〇・九〇㎡

七六・五四㎡

四二・九九㎡

四〇・四四㎡

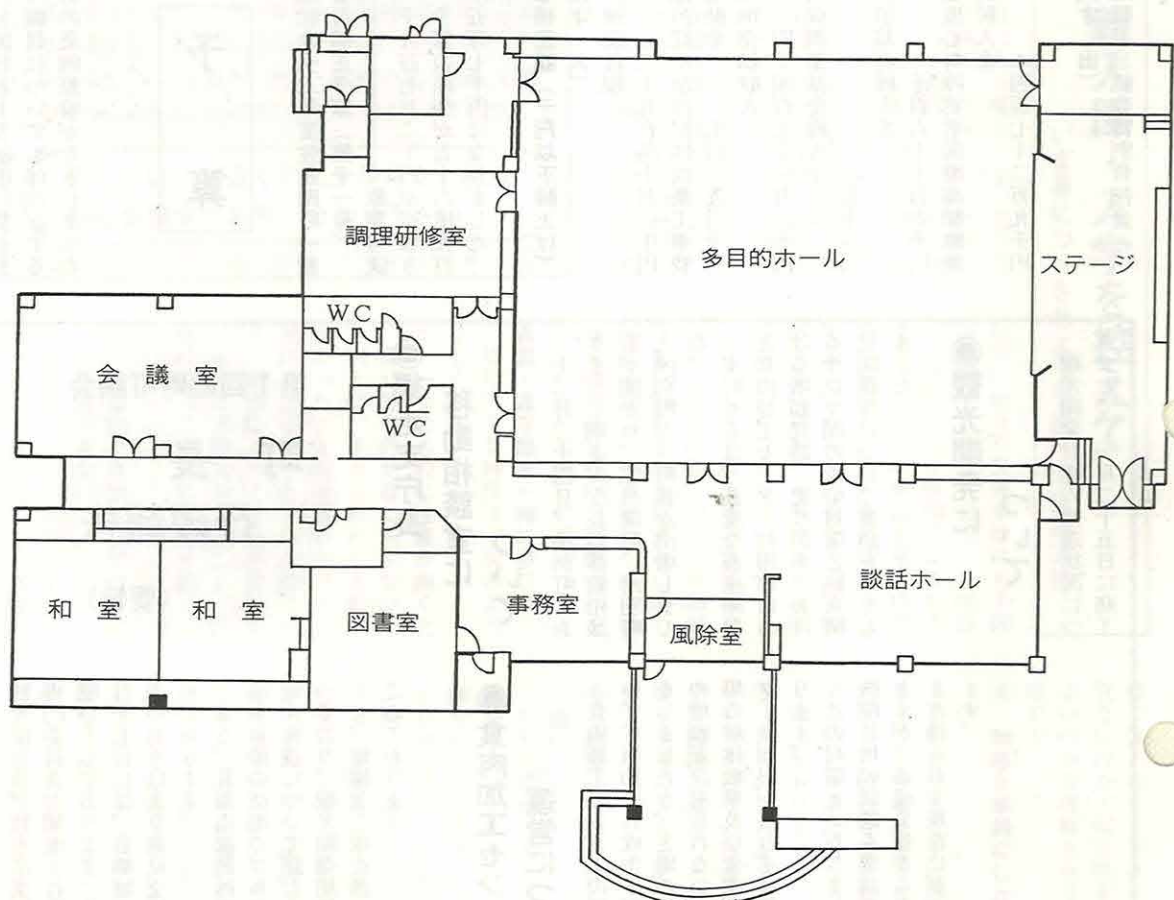
九〇・三三㎡

三五五・五八㎡

七二・五〇㎡

六八・一三㎡

(若佐コミュニティセンター平面図)



議会のうごき

第一回 臨時町議会

第一回臨時町議会が二月二十一日、二十二日開会され条例、予算などが議決されました。

条例

▼条例の制定

●特別職及びその他の報酬額、費用弁償額及びその支給方法に関する条例の一部を改正する条例制定について

総務財政常任委員会付託

●昭和天皇の大喪の礼の行われる日を休日とする法律の施行に伴う関係条例の適用に関する条例の制定について

原案可決

昭和天皇の大喪の礼の行われ

る日を休日とする法律に基づき本町職員についても休日とするための条例整備がなされました

予算

●昭和六十三年年度佐呂間町一般会計補正予算（第十一号）

原案可決

一千八百七万二千円が追加され、予算の総額が五十六億九百四十五万七千円になりました。

主な補正額（千円以下繰上げ）

（才入）

・普通交付税

二千九百四十万一千円

・佐呂間小学校屋体改築工事費補助金

七百二十六万六千円

・土地売却収入

四千四百七十一万二千円

・財政調整基金繰入金

△七千万円

・減債基金繰入金

一千六百六十七万六千円

・重度心身障害者医療高額療養費戻入金

△四百七十二万九千円

（才出）

・退職手当組合特別負担金

第1回臨時町議会 町長行政報告 (要旨)

●網走支庁長 移動相談室に ついて

十二月二十四日、湧別町におきまして網走支庁長の移動相談室が開かれ、佐呂間町、湧別町、上湧別町の三町長が出席しました。

本町からは、高度な畜産開発と食肉加工センター利用等における増頭問題、更に将来におけるサロマ湖の汚染対策と観光開発問題等について要請をいたしました。

●観光開発に ついて

観光開発計画の推進状況につきまして、一月二十五日に商工

観光協会及び観光産業開発調査専門委員会が開催され意見を拝聴いたしております。また、二月十七日には、各職域の青年代表の方々により意見交換会を行っております。

また、北海道振興株式会社と温泉泉源の活用やゴルフ場等の観光施設について話し合いを行っており、観光開発用地についても、地権者と現在話し合いを進めております。

●食肉加工センター 運営について

食肉加工センターの運営について、当初一日成牛十頭の計画をしましたが、と場の処理頭数の増頭が許可されないため、と場の解体数量及び食肉加工センター使用料がそれぞれ減じております。

この対策といたしまして、各機関に増頭問題を要請しておりますが、畜産公社からの同意がまだ得られず現在に至っております。

議会委員会の動向(10月~12月)

10月 産業建設常任委員会
所管事務調査
(調査内容) 牧野調査について
31日 議会運営特別委員会
(審議内容) 第九回臨時町議会運営について
11月 産業建設常任委員会
所管事務調査
(調査内容) サロマ湖第一湖口及び第二湖口について

11日 観光問題調査特別委員会
(審議内容) 観光開発計画の推進について
14日~16日 社会文教常任委員会
付託案件審査
(審査内容) 旧軍人軍属恩給資格者救済に関する請願
所管事務調査
(調査内容) 町内各小中学校並びに保育所現地調査
12月

6日~8日 決算審査特別委員会
付託案件審査
(審査内容) 昭和六十二年度決算認定について
7日 産業建設常任委員会
所管事務調査
(調査内容) 浄化槽について
19日 議会運営特別委員会
(審議内容) 第四回定例町議会運営について

●昭和六十三年佐呂間町と場特別会計補正予算(第七号)
原案可決
三百二十一万一千円が減額され、予算の総額が一億八千五十九万になりました。
主な補正額(千円以下繰上げ)
(才入)
・食肉加工センター使用料 △百十二万円
・と殺解体手数料 △三百七十六万三千円
・一般会計繰入金 五百九十九万
食肉加工センター負担金 △二百六十五万二千円

一千五百三十七万六千円
・開基百年記念事業基金積立金 二千五十万円
・旧国鉄湧網線用地購入費 一千五百八十九万五千円
・重度心身障害者医療扶助費 △五百五十万五千円
・乳幼児医療費 △百八十七万七千円
・土地改良総合整備事業負担金 △二百七十八万八千円
・佐呂間湖観光開発公社運営費補助金 △百五十万円
・遠軽地区広域組合負担金 △百五十六万五千円
・町債償還元金 一千六百六十七万六千円
・佐呂間町町有林特別会計繰出金 △百二十七万二千円

佐呂間町簡易水道特別会計繰出金 △九百五十九万六千円
・佐呂間町と場特別会計繰出金 五百九十九万九千円
・佐呂間町営バス事業特別会計繰出金 △百二十五万五千円
●昭和六十三年佐呂間町町有林特別会計補正予算(第三号)
原案可決
五百五十二万二千円が追加され、予算の総額が、四千四百三十万三千円になりました。
主な補正額(千円以下繰上げ)
(才入)
・一般会計繰入金 △百二十七万二千円
・前年度繰越金

五百六十四万六千円
・前年度繰越金 四百六十四万二千円
・佐呂間簡易水道配水管移設工事費債 △二百万円
(才出)
・町有林事業基金積立金 六百万円
●昭和六十三年佐呂間町簡易水道特別会計補正予算(第六号)
原案可決
二百四十三万二千円が追加され、予算の総額が一億五千四百十三万九千円になりました。
主な補正額(千円以下繰上げ)
(才入)
・簡易水道使用料 一千二十四万一千円
・一般会計繰入金 △九百五十九万六千円

・前年度繰越金 四百六十四万二千円
・佐呂間簡易水道配水管移設工事費債 △二百万円
(才出)
・佐呂間簡易水道配水管移設工事
・栄簡易水道送水管移設工事
・浜佐呂間簡易水道番号線配水管入替工事
・浜佐呂間簡易水道汐見道路配水管布設工事
(計) △百三十二万一千円
・予備費 三百七十五万三千円

町政日記

2月 知来地区営農用水 利用組合総会
1日 社会文教常任委員会
3日 第九回産業冬の集い
5日 産業建設常任委員会
7日 交通安全標語審査会
10日 老人クラブ対抗
11日 カルタ・輪投げ大会
12日 オホーツク・ブルーム
12日 ボール選手権大会
12日 全町婦人の集い
13日 農業所得調査専門委員会
13日 例月出納検査
16日 佐呂間漁業協同組合 定期総会
17日 農民同盟定期総会
21日 第一回臨時町議会



(才出)

・光熱水費

△二百七十二万一千円

●昭和六十三年度佐呂間町営バス事業特別会計補正予算(第三号) 原案可決

七十二万二千円が減額され、予算の総額が一千五百二十二万二千円になりました。

なお、補正金額が少額ですので補正内容を省略させていただきます。

専決処分

▼条例の制定

●佐呂間町税条例の一部を改正する条例制定について

承認

主な改正点

地方税法の改正に伴い、町民税退職所得の分離課税に係る所得割の税率が従来の七段階から三段階に改正され、税率の上限が百分の十二から百分の十一になりました。

また、税率の改正に伴い「退職所得に係る町民税の特別徴収税額表」が改正されました。

国民年金保険料を納めましょう

納めましょう

国民年金は、保険料を納めることによって実を結びますが、加入者の中には「つい、うっかり」未納にしている方がいます。保険料を納めることは、自分の権利を守ると同時に加入者の義務でもあります。

無年金者の方が一人でもなくなるよう、一人でも多くの方が満額年金を受けられるよう三月を「保険料納入促進強化月間」と定め、保険料を未納にしている方について役場や社会保険事務所が、未納期

間の通知や戸別訪問、電話などによって納入の督促を行いますので、今一度お手もとの納付書をお確かめください。保険料の納め忘れ防止に最適な口座振替や一年分の保険料を前納する方法もありますので、ご自分にあった納め方で納め忘れを解消しましょう。

現況届けの提出期限が誕生月の末日に変更

国民年金の年金受給者が引き続き年金を受けるためには、年一回受給権者現況届けを提出することになっています。

四月から次の年金を受けている方は、提出期限が誕生月に変わります。大切な届けですので忘れずに提出しましょう。

納め忘れはありませんか?



昭和六十三年度分保険料の最終納期は三月三十一日です。の期限までに必ず納めましょう!

紋別 ← → 丘 珠 間 航空運賃 25%割引

●期 間 平成元年1月10日から平成元年3月31日まで
●対象 原則として佐呂間町民

●割引利用券 ご利用の方は役場企画調査室で発行の割引利用券の交付を受けて下さい。

◆ エアーニッポンKK ◆



国民年金

無年金者の方が一人でもなくなるよう、一人でも多くの方が満額年金を受けられるよう三月を「保険料納入促進強化月間」と定め、保険料を未納にしている方について役場や社会保険事務所が、未納期

現況届け提出日新旧対照表

年金の種類	現行	改正後
旧法		
・障害年金		誕生月の末日
・母子(準)年金	5月31日	
・遺児年金		
・寡婦年金		
新法		
・障害基礎年金		誕生月の末日
・遺族基礎年金	4月30日	
・寡婦年金		
・障害基礎年金(20歳前障害に係るもの)		
・遺族基礎年金(母子・準母子)福祉年金から裁定替したものの	7月31日	7月31日

税のしるべ

消費税が四月からスタートします

四月一日から、新しい消費税がスタートします。

この消費税は、商品やサービスの売上げにかかる間接税で、税金分は価格に上乗せされ、最終的には消費者が負担しますが、納税は製造、卸、小売の各事業者が行うことになっています。

そのため事業者の方には、消費税の仕組みはもろろんのこと納税事務の手続をいち早く知っていただく必要があります。

税務所では、消費税についてのいろいろな疑問に答えるため事業者の方に対して、説明会（佐呂間町は三月二十八日（火）十三時三十分から町民センターで行われます。）を開催したり、詳しいパンフレットを用意していますので、是非ご利用ください。

消費に広く

薄く課税

消費税は、消費に広く薄く負担を求めている、国内のほとんどすべての取引に対して、三％（普通乗用自動車は平成四年三月三十一日まで六％）の税率で課税されます。

ただし、土地や有価証券の売却、預金の利子、医療・福祉・教育の一部などには課税されません。また、輸出については免税となっています。

納税

義務者は

消費税を最終的に負担するのは消費者ですが、消費税を実際に納税するのは事業者です。

ただし、個人事業者については前々年、法人については前々事業年度（これを基準期間とい

います。）の課税売上高が三千万円以下の事業者の方は、納税義務が免除されますので申告・納税の義務はありません。

なお、このような免税事業者でも、課税事業者となることを選択することができます。

（注）基準期間の初日が施行日（昭和六十三年十二月三十日）前で、その期間における課税売上高の計算が困難なときは昭和六十四年一月一日から平成元年二月二十八日までの課税売上高に六を掛けた金額をその基準期間の課税売上高とすることができます。

簡易課税制度

簡易課税制度とは、基準期間の課税売上高が五億円以下の課税事業者について、課税売上高に係る税額の八〇％（卸売業者は九〇％）を課税仕入れに含まれる税額とみなすものです。したがって、簡易課税制度を

消費税の納付税額の計算

納付税額

$$\frac{\text{課税期間の課税売上高}}{\text{課税売上高}} \times 3\% - \frac{\text{課税期間の課税仕入れ高}}{\text{課税仕入れ高}} \times 3\%$$
 売上げに対する税額 仕入れに含まれる税額
 税額の計算は、課税期間（個人事業者はその年、法人はその事業年度）中の売上げに対する税額から、同じ期間中の仕入れに含まれる税額を差し引くだけです。仕入れに含まれる税額の方が多ければ還付されます。

簡易課税制度を選んだ場合の計算

課税期間の課税売上高 $\times$ 0.6%
 （卸売業者は 0.3%）

限界控除制度による計算

本来納付すべき税額 $\times \frac{\text{年間課税売上高} - 3,000\text{万円}}{3,000\text{万円}}$

限界控除制度

選択した場合には、課税仕入れ高の計算を行う必要はなく、課税期間の課税売上高だけを基礎として、次の算式により納付する消費税額を計算することができます。

限界控除制度とは、課税期間の課税売上高が六千万円未満の課税事業者について、課税売上高に応じて納付する消費税額（本来納付すべき税額）の一部を軽減するものです。具体的には次の算式により計算した金額が納付する消費税額となります。

届出等の手続は

- 事業者には、各種の届出等の義務がありますので、それぞれの要件に該当する事実が生じた場合には、所轄の税務署長に対して、その旨を記載した届出書を提出する必要があります。
- この届出書等の用紙は、各税務署（間税担当部門）に用意してあります。
- 主な届出書は、次のとおりです。
- ① 基準期間の課税売上高が三千万円を超えるとき
 「消費税課税事業者届出書」
 簡易課税制度を選択するとき
 - ② 「消費税簡易課税制度選択届出書」
 - ③ 課税事業者になることを選択するとき
 「消費税課税事業者選択届出書」
 - ④ 課税期間の短縮を選択するとき
 「消費税課税期間特例選択届出書」
- 消費税についてお分かりにならない点がありましたら、税務署（間税担当部門）又は税務相談室へお問い合わせください。

まちの話題

川柳で大賞受賞

「雄大な北海道の

土となる」

「若里 鈴木イマさん」
若里の鈴木イマさん（八十三歳）が、この度北海道新聞の読者時事川柳で大賞を受賞しました。

これは、同新聞が掲載している川柳の内、昭和六十三年下半期（七月～十二月）の間に、読者から寄せられた千三百点の作品の中から選ばれたものです。

今回の受賞作品は、自分は農業（牛飼）が好きで、これを天職と考えて、できた作品とのことです。



イマさんが川柳を始められたのは、七年程前からで「昔から字を書くのが好きで始めました和歌などに比べ川柳を新聞等で見ることが多かったからです」と、話してくださいましたが、これまで独学で、わからない字や文章があるとよく辞書を引くとのことでした。

作品をつくる秘訣をお聞きしたところ「秘訣なんてありません。調子のいい時は自然に口から出てくるんです。でも、なかなか文章がまとまらず、枕元へ筆と紙を置いて寝ることもあるんですよ。」とのこと。

大賞に選ばれ、自分の作品が紙面に載ったときは、とてもうれしかったと笑顔を話すイマさんですが、これからも書き続けていきたいと意欲満々でした。

第九回

産業冬の集い



冬の行事として、恒例になりました「第九回産業冬の集い」が、二月五日町民センターで開催されました。

今年は午前の部として、町民の健康づくり増進のため、栗沢町立美流渡診療所長の樋戸健次郎先生を招いての講演会が行われ、家庭でできる病気の予防などの身近な話に観客は真剣に聞き入っていました。

メイン行事の町内特産物をふんだんに使ったアイディア料理コンクールでは、どれも素晴らしい出来で、審査員も点数をつけるのに苦労していました。

また、一村一品の展示即売会や農協婦人部若妻会の皆さんに

よる交通安全かかしが、会場に並べられ、来場者の目を引いていました。

午後からは、ビンゴゲームやカラオケ大会が行われ、会場内につめかけた観客から盛んに声援や観声が飛びかい、楽しい「冬」の一日でした。

「わたしも交通安全運動」で六団体表彰

長年、地域の交通安全運動に積極的に参加・活動された町内

老人クラブ対抗カルタ・輪なげ大会

二月十日、町民センターにおいて、老人クラブ対抗第十二回カルタ・第七回輪なげ大会が、十七老人クラブから二百二十名が参加して行われました。

離れた的へ輪を全部入れ、高得点を上げる人や、力余って輪を観客席まで飛ばす人など、一投一投に歓声があがり、参加者は楽しい一日を過ごしました。



の六団体が、この度「北見方面交通安全協会」より表彰されました。

●表彰団体名

- 佐呂間町農業協同組合
- 佐呂間漁業協同組合
- 佐呂間町建設業協会
- 佐呂間地区林産協同組合
- 佐呂間町農協婦人部若妻部会
- 日本ボリースカウト佐呂間第一団

（遠軽地区交通安全協会佐呂間支部）

税に関する作文

見事入選

全国納税貯蓄組合連合会主催による「中学生の税についての作文」で、若佐中学校三年結城あけみさんが、北海道納税貯蓄組合連合会長表彰で佳作に、同校三年松浦めぐみさんが、北見地区納税貯蓄組合会長表彰で会長賞を、同じく三年滝ゆかりさんが優秀賞に入選受賞しました。

この作文は、中学生の税に対する意識の高揚を図るため毎年行っているもので、今年も北見地区管内から百二十四点の応募がありました。

賞状と記念品は、同校で北見地区納税貯蓄組合連合会長の辰巳実さんから三人に伝達されました。



ブルームボール

選手権大会

第四回オホーツクブルームボール選手権大会が、二月十一日十二日西富の特設リンクで開催されました。

今年は町内十四チームの外、丸瀬布町、遠軽町など町外七チームの計二十一チームにより、トーナメント戦が行われました。二日間とも青空が広がり、絶好の大会日和となったものの、コートの水が解けて滑りやすくなり、ボールを空振りして転倒する人など珍プレーが続出し、観客をわかせていました。



社会教育だより

平成元年度「寿大学」

受講生募集のお知らせ

高齢者時代を迎え、生きがいを見い出すための学習の場として、本年も佐呂間町高齢者教室「寿大学」を開校します。

募集定員はありませんが締切後は受付られませんので、注意の上お申込みください。

▽開校期間

四月～十二月まで 毎月二回

▽場所

老人福祉センター

▽対象

六十五歳以上の方

▽受講料

無料

▽その他

(但し、教材費は個人負担)



▽開校式

四月十八日(火) 午前十時

▽受講申込

所定の申込書に必要事項を記入の上、四月一日までに教育委員会に申込んでください。

▽注意

昨年度受講された方も新たに申込が必要です。博士号を授与された方もこれまで通り受講ができますので、締切日までに申込んでください。

みごとな絵本完成

母からわが子へ

北見・高栄中学校松岡義和先生をお招きしての「手づくり絵本講習会」が開かれ、母から心を込めたわが子への絵本が立派にできました。

この講習会は二回で一冊の絵本を作りあげるもので、一回目は製本、二月二十七日の二回目は絵と物語を書き入れ、みごとに



な手づくり絵本が完成しました

全町婦人の集い

一五〇名が参加

二月十二日(日)教育委員会と女性懇話会が主催する第七回「全町婦人の集い」が開催され約一五〇名の婦人が参加、熱心に学習、レクリエーションに取組



みました。

今回は東日本学園大から松田教授を招き、歯の健康について学び、歯の大切さ、歯槽膿漏の予防等についてスライドを見ながら学習、午後からはミニ運動会で交流を深めました。

美味しくできた

手づくりソーセージ

二月十九日、町民講座「料理教室」(手づくりソーセージ)が地場産品開発研究センターを会場に、開催されました。

端野町でソーセージやハム等を製造販売している態村成洋氏を講師に、定員一杯の二十名が参加、主婦、養豚家等のほか、初めて男性四人が参加され熱心に作業に励みました。

肉をブロックに切り、ミキサ



ーにかけ、香辛料等を入れ、混ぜ、腸詰め、薫煙をし、ゆがいて作業は終了。

参加者全員で試食を行い、意見を交換しました。

農家の主婦や養豚家から熱心な質問が続出、今後可能性を含んだ料理教室でした。

感動しました

名画鑑賞会

二月二十一～二十三日の三日間、浜佐呂間小・中学校、若佐公民館、町民センターを会場に名画鑑賞会が開催されました。



上映されたのは、アメリカ作品「愛と青春の旅立ち」で、テレビで見える映画とは一味違う大きなスクリーンで見る映画に観客はうっとりとし入り、ラストシーンでは涙をうかべている人も見受けられました。

高齢者と高校生が交流 昔のあそび広場

一月二十五日、二月八日、二十二日佐呂間高校を会場に「昔のあそび広場」が開催されました。昨年から始まったこの交流は、高齢者と高校生のふれあいを目的としており、今年は高校のロングホームルームの時間を使い授業の一環として、一年生を対象にぞうり作りとお手玉作りを行いました。



指導にあたったのは、大成・栄老人クラブ（会長渡部啓次郎さん）の皆さんで、材料になるわらや小豆は全て提供していただきました。

普段、おじいちゃん達と接し昔話を聞く機会の少ない高校生

は感心しながら習い、二時間です立派なぞうりとカラフルなおお手玉を見事に作り上げ、作業や会話を通した楽しい交流を終えました。

高齢者文化展に 力作がずらり

二月六日から三月四日までの一か月間、老人福祉センターにおいて第三回高齢者文化展が開かれました。

高齢者が日頃活動し製作した手芸、書道、絵画等の作品百三十六点が展示され、来場者の目を惹きました。作品の中には素人が作ったとは思えないものもあり、レベルの高さを見せつけられました。

今後の益々の活動を期待したいものです。



親子スキー教室 夜間に二七〇名



二月一日、二日、八日、九日

の四日間にわたり町営スキー場でナイターの親子スキー教室が開催されました。約二百七十名が参加し、六名の講師により初心者から中級、上級までそれぞれのグループに分かれ、ブルータボースキーからウェーデルン等の基礎スキー技術を熱心に習っていました。

スケート記録会で 七つの新記録

一月二十九日、町営スケートリンクにおいて、第三回佐呂間町スケート記録会が百五十名の方が参加し開催されました。

晴天の中、選手達は一周三百

第3回佐呂間町スケート記録会結果表

各種目1位のみ

※印は大会新記録

種	目	第1位	学校名	記録
100M	小学校以下	長沢耕之輔	栄保 ※	27.53
	小学校1年男子	宝里 智洋	栄	22.39
	小学校1年女子	加藤 智子	栄 ※	21.66
200M	小学校2年男子	岸 竜輔	栄	33.41
	小学校2年女子	伊藤かおり	栄	35.82
300M	小学校3年男子	十亀 淳史	栄 ※	41.58
	小学校3年女子	鈴鹿 絵美	栄	47.40
	小学校4年男子	十亀 隆司	栄	43.01
	小学校4年女子	蓬田美星子	栄	53.74
500M	小学校3年男子	十亀 淳史	栄	1.14.32
	小学校3年女子	鈴鹿 絵美	栄	1.22.70
	小学校4年男子	十亀 隆司	栄	1.05.34
	小学校4年女子	蓬田美星子	栄	1.20.76
	小学校5年男子	得川 崇	栄	1.12.29
	小学校5年女子	宝里 恵	栄	1.16.32
	小学校6年男子	太和 紀道	栄	1.09.51
	小学校6年女子	渡部 杏奈	栄 ※	1.07.56
	一般男子	川井 公夫	栄	1.51.20
1,000M	小学校3年男子	十亀 淳史	栄	2.42.24
	小学校3年女子	鈴鹿 絵美	栄	2.54.24
	小学校4年男子	十亀 隆司	栄	2.31.88
	小学校4年女子	蓬田美星子	栄	2.49.36
	小学校5年女子	宝里 恵	栄 ※	2.43.07
	小学校6年女子	二神絵利華	栄 ※	2.27.74
1,500M	小学校5年男子	山本 潤一	栄	3.50.00
	小学校6年男子	太和 紀道	栄 ※	3.44.18
	中学校男子	今部 朋義	栄	3.55.66
1,200M リレー	小学校男子	栄小学校A	栄	2.42.73
	小学校女子	栄小学校A	栄	3.05.30



メートルの広いリンクの上で父母の声援を受け、日頃の練習の成果を発揮、ゴールインするたびに歓声が上っていました。

尚、結果は表の通りです。

お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

運転免許証

更新講習会

▽日時 四月五日(水)
午後六時から

▽場所 町民センター集会室
※講習は、有効期限(誕生日)
の一年前から受講できます。

更新手続きは、有効期限の一
か月前からできます。

なお、受講される方は、免許
証、筆記用具をご持参ください
(交通安全協会佐呂間支部)

英会話サークル

仲間になろうぞ

昨年十月に結成した英会話サ
ークルでは、毎週月曜日コミュ
ニティーセンターを会場に、活
動を続けていますが、一緒に英
語を学ぶ仲間を募集しています

外国人の講師から、本物の英会
話を学びませんか。

○問い合わせ先

・為広恵美子 二二三六五八
・古川 礼子 二二三五七九

奨学資金希望者の

受付について

平成元年度佐呂間町奨学資金
の貸付を希望する方の申請受付
を次により行います。

一、奨学生の条件

(一)高等学校、若しくはこれに
準ずる講習所、又は高等学
校以上の学校、若しくはこ
れに準ずる講習所に就学す
る方、又は在学している方
(二)身体健康、学業優秀、性行
善良である方
(三)学資の支弁が困難な方
(四)本町住民の子弟である方

二、奨学金の貸付

(一)高等学校、若しくはこれに
準ずる講習所に就学する方
又は在学している方
(二)月額 七千円

(三)高等学校以上の学校、若し
くはこれに準ずる講習所に
就学する方、又は在学して
いる方

・月額 一万八千円

三、奨学金の返還

(一)奨学金は無利子です。ただ

し期日までに納入されない
ときは、その翌日から納入
するまでの間、日歩四銭の
延滞利息が付されます。

(二)奨学金の返還期限は、修学
期間終了月の翌月から起算
し、六か年償還(ただし、
修学期間終了月の翌月から
二か年間据置きとする。)
とし、返還方法は年賦、半
年賦のいずれかによる。

2 貸付の申請

貸付を受けようとする方は
四月(一日から四月二十日ま
で)に申請してください。

※申請用紙は教育委員会で用意
しております。

なお、詳しくは教育委員会経
理係までお問い合わせください

二二三五五

紋別・札幌(丘珠)間定期便 の時間帯が変わります

オホーツク紋別空港のエアース
ポーン定期便の運航時間が次のとおり
変更になります。

・実施期日 平成元年3月1日より

・時間帯

*定期便

丘珠(札幌)

14:40→15:30

16:50→15:55

オホーツク紋別

危険物取扱者試験の 実施について

実施について

平成元年度第一回目の危険物
取扱者試験が次のとおり実施さ
れます。受験の申請及び詳細に
ついては、財団法人消防試験セ
ンター北海道支部にお問い合わせ
ください。

なお、願書については佐呂間
消防支署にもあります。

一、願書受付期間

四月三日(月)から

四月十四日(金)まで

二、試験日

五月二十一日(日)

三、試験の種類及び試験地

(一)全種類を実施する試験地

札幌市、函館市、旭川市、

苫小牧市、釧路市

(二)乙種第四類及び丙種のみを
実施する試験地(管内のみ
掲載)

北見市、紋別市

先

四、願書提出先及び問い合わせ

先

(財)消防試験研究センター北

海道支部(札幌市中央区北

五条西六丁目札幌センター

ビル ☎〇一一二〇五一一

三七一一

佐呂間町出身の東京在住の 方を紹介してください！

現在、東京で『東京佐呂間会』設立のた
め会員の募集を行っています。

つきましては、みなさんのご在知の方で
東京在住の方がいましたらご紹介ください。

※詳しくは役場企画調査室へお問い合わせください。

国際交流に理解と協力を！

- ・ホームステイの受入を希望される家庭
 - ・通訳又は翻訳していただける方
- を募集しております。

不要電波の情報提供について

家庭やオフィスで各種電子機器の使用が増えるにつれ、他の機器から出る不要電波で誤動作をひき起こす電波障害が道内でも目立ち始めています。

木材の自動切断機用台車が突然動き出したり、オートマチック車が急発進したり、プッシュホン電話機に音声・雑音が混入し通話不能になった例も起きています。

このような障害は、今後ますます増大することが予想されますので、各種障害事例の情報を収集し適切な対策を講じる必要があります。

不要電波による各種障害が発生しましたら北海道電気通信監理局・不要電波障害対策室（札幌市西区八軒六条西二丁目、〇一一六—一一八—二六二）までご連絡願います。

新入園・入学を控えて

いま身につけさせよう子供への交通道徳

三月に入り暖かくなってくる、子供たちは待つていたかのように外で遊びはじめます。思い切つて体を動かせるので、とてもうれしそうです。

しかし、この時期に怖いのは交通事故——特に入園・入学を控えた子供の死亡ニュースほど悲しいものではありません。

指導を繰り返して習慣づけを昭和六十二年の「交通統計」によると、六歳以下の子供の歩

行中に起きた交通事故は五千四百七件。このうち五五・七％は「とび出し」が原因によるものです。これらの事故を発生時間帯でみると、最も多い時間帯は午後四時から六時までで、この時間帯に発生する事故が、全体の約二八％を占めています。

こうした事故を減らしていくには、まず両親（大人）が幼児のもつ特性を知り、それに応じた具体的な交通安全のための指導を繰り返して行い、習慣づけをすることが大切です。

通園・通学路を一緒に歩こう
幼児の主な特性は、次のようなものです。

- ① 一つのものに注意が向くと周りのものが目に入らない
例えば、手から放れた風船や転がったボールを追いかけて、道路にとび出すなどの行動です
- ② 気分によって行動が変わる
子供は喜怒哀楽が激しく、感情によって思わぬ行動を起こしかねません。
- ③ 抽象的な言葉だけでは、よく理解できない。
「危ないよ」、「気をつけてね」という具体性のない言葉だ

けではわかりません。どうしても危ないのか、何に気をつければよいのかを理解させることが大切です。

④ 物事を単純にしか理解しない
手を上げさえすれば、いつでもどこでも車は止まると思いこんだり、信号が青に変わると、車の停止を確認しないで走り出す傾向があります。

⑤ 大人のまねをする。
大人が近くの横断歩道を渡らずに道路を横断したり、信号無視をするのを見ると、まねをします。

⑥ 幼児は視野が狭く、視点が低い
幼児の視野は大人より狭く、視点は大人よりも低いので、物陰から出てくる車などが見えずとび出してしまいます。

特に、入園・入学を控えたお子さんが道路に出るときや道路を渡るときは、必ずいったん止まって右・左を確認する習慣を身につけさせましょう。また、両親（大人）が事前に通園路や通学路を子供と一緒に歩き、危険な場所を確認し、それらの場所ではどのようなことに気をつけなければならないかを、具体的に教えてあげることが大切です。

新入学の備え 万全ですか？

収入が少なく

学費でお困りの方は、世帯更生資金

無利子

修学資金をご利用下さい。



- ・修学費として、月額10,000円～35,000円
- ・就学支度費として一括35,000円～170,000円
(国公立別、学校別により異なります)
- ・返済期間…貸付金額に準じて最高15年まで
- ・返済方法…月賦返済(場合により年賦、半年賦も可)
- ・その他…連帯保証人が1名必要

世帯更生資金とは、低所得世帯と身体障害者世帯に必要な資金をお貸しする国の制度です。

修学資金以外でも商売の開業、拡張、住宅の補修、病気の際の療養費などに利用できます。利子は年3％です。

詳しくは、お近くの民生委員か、社会福祉協議会へお問い合わせ下さい。



入学おめでとう

平成元年度 下記の皆さんが小学校に入学されます。

児童生徒氏名	保護者名	児童生徒氏名	保護者名	児童生徒氏名	保護者名
佐呂間小学校		知来小学校		若佐小学校	
黒澤 顕	祐幸	川根 愛子	守 幸	佐伯 裕美	宏 二
茂木 亜彩未	清志	馬場 知生	雅幸	滝 河 壮司	英富
安斉 樹乙	誠一	吉田 惇恵	喜世光	黒河 綾美	保彦
太田 歩聖	達美	尾崎 千恵	倫則	工藤 秀宏	昭文
大宮 雄一	克謙	橋本 雄作	俊一	青柳 知綾	眞政
菊地 雄一	康康	大月 宏昭	宏一	柴田 考み	英訓
鈴木 さとみ	典朗	成田 朋美	強勝	前田 部み	政英
原 寛典	勇剛	式地 瑠美	勝勝	渡小 野剛	聖恵
預 幡光	一男	式地 瑠美	勝勝	青木 戸理	理恵
渋谷 友美	男治	佐久美 武司	晴好	渡 渡	敏
日吉 良枝	三三	仁倉小学校		栄小学校	
藤川 郁美	耕昭	福田 美佳	勝彦	長澤 耕之輔	秀樹
中谷 圭佑	秀秀	須佐 悠加	弘弘	岸 宮 慎太郎	岩 哲
石川 博道	孝三	森 圭子	利弘	田 岡 亮太	兼一
中田 慎司	美明	浜佐呂間小学校		片 岡 太学	浩誠
嘉村 周悟	弘弘	菅原 宏太	孝照	太 田 康剛	市
沢井 香奈美	功義	畑中 まどか	善峰	総数	
早川 郁翼	勲夫	松本 憲郁	政慶	97名	
水戸 あずさ	忠孝	名知 内公	慶一		
水戸 和樹	春敏	竹川 郁夫	研喜		
渡辺 晃樹	俊剛	夏村 岡睦	喜義		
明 藤 介太	一弘	幌岩小学校			
遠 畑 秀徹	一弘	松永 ひろみ	義一		
小川 村貴	光峻	富武士小学校			
駒井 弘哲	義淳	井上 茂幸	登一		
畠澤 元宏	益秀	池野 和広	晴善		
長屋 あゆみ	健	菊地 貴恵	隆夫		
宇野 真由美		内 柴 和雅			
吉野 綾乃		但 木 実			
森 本 陽介					
坂村 絵美					
中井 葵月					
渡々 木 創子					
佐々 井 美子					
永井 美子					
香川 こずえ					

ぼくとわたしの作品

今月は浜佐呂間小学校のお友だちの作品を紹介します。

温室

四年 堀米恵美

筆づかいに気をつけて、元氣よくのびのびと書けています。字形もよくまとまっています。名前もよく書けています。

温室

四年 源藤広美

自由ののびのびと書けています。「うかんむり」の二画、三画の「はね」に少し注意したらなおよかったですね。



一年 佐藤 岳志

家の中で元気に遊ぶ子供たち。横から顔を出したお父さんに、しかられないかな。



二年 山崎沙耶花

一人一人の体の動きや顔の表情が上手に表現されています。楽しいスケートになりました。

交 差 点

▶平成元年交通事故発生状況

(1月末現在)

発生件数	1	(0)
死者数	0	(0)
負傷者数	1	(0)

()内昭和63年同期

▶交通事故死ゼロ300日目標

達成日 平成元年6月5日
2月末現在 203日です。

▶昭和62年度交通安全標語入選作品

心も体も シートベルトをして 事故防止
(富武士小学校 横山 了)
のる前に 心に誓おう 三悪追放を
(富武士小学校 杉山 友洋)
思い出せ、シートベルトで 家族の笑顔
(佐呂間中学校 佐々木清行)

ベビーフェイス



若里 信山 智徳さん
長男 浩 ひろとし 利ちゃん
昭和六十三年三月十日生

はじめまして！
信山家の長男浩利です。僕は、今いたずらが大好きで、テレビのリモコンをいじり、かつてにチャンネルを変えたり、あっちこっちへ行つては戸棚、引出しをいたずらして怒られています。
また、階段の登り降り、車とお風呂が好きで、特に車に乗っている時は、機嫌のいい僕です。
三月十日の誕生日を前に、少しづつ歩きだした所です。お父さんも、お母さんも元気で明るい子に育って欲しいと願っています。



ATV(三輪バギー)レースサロマ湖大会

- とき 3月19日
- ところ 浜佐呂間特設会場

問い合わせ先 佐呂間町観光協会 ☎ 2-3311

※開催日が5日から19日に変更になりました

献血に参加してみませんか

— 献血者登録制度 —

献血は見知らぬ方に血液を提供するだけでなく、あなたの豊かな心が込められた「助け合いの制度」といえるでしょう。みなさんの善意による献血により多くの尊い生命が救われていきます。

この制度は、血液センターからの要請に応じて、登録者の都合のよい日時に献血をお願いする方法です。

これは、今までの献血の方法に加え、更に緊急時の輸血血液や、まれな血液型の血液の安定的な確保を積極的に図ろうとするものです。

登録についての申し込み、お問い合わせは血液センター及び移動献血車へお尋ねください。

このため血液センターでは、あらかじめ献血してくださる方の血液型を調べておき、必要に応じて献血をお願いする献血者登録制度を行っています。



さわか君

西村 京



ご寄付

ありがとうございました

▼ 香典返しを廃して

● 社会福祉協議会へ

(亡父友市さん)

大成 鈴鹿 英夫さん

(亡義母早稲田フジノさん)

西 富 吉谷喜代治さん

(亡母カ子ヨさん)

浜佐呂間 三好 勘市さん

● 身体障害者福祉協会佐呂間

分会へ

(亡父速次郎さん)

啓生 矢野 道夫さん

● 大成・栄老人クラブへ

(亡父友市さん)

大成 鈴鹿 英夫さん

● 啓生老人クラブへ

(亡父速次郎さん)

啓生 矢野 道夫さん

(亡父清馬さん)

啓生 宇佐 喜吉さん

● 若里中央部落へ

● 若里老人クラブへ

(亡夫利之さん)

若里 橋本 玲子さん

● 浜佐呂間小学校へ

(亡母カ子ヨさん)

浜佐呂間 三好 勘市さん

▼ 全快祝を廃して

● 社会福祉協議会へ

宮前町 堀 次郎さん

▼ その他

● 栄小学校へ

栄町 内 婦人会

● 特別養護老人ホームへ

(寄付)

知来 石井小五郎さん

大成 鈴鹿 英夫さん

西 富 吉谷喜代治さん

永代町 星 勇喜さん

知来 明坂 モトさん

(寄贈)

浜佐呂間 住吉不二夫さん

浜佐呂間 加藤 鐘雄さん

(慰問)

佐呂間 保育所

● 町立図書館へ

役場の執務時間が変わります

四月一日から役場の執務時間が次のとおり変わります。

平日 午前八時半～午後五時

土曜日 午前八時半～正午

午後八時半～正午

啓生 宇佐 喜吉さん

学校教育運営協議会

(財)北海道科学文化協会

北海道身体障害者福祉協会

札幌市厚別図書館

(財)北海道開拓の村

熊平製作所

岩槻市教育委員会

仲間の本づくり編集部

クレヨンハウス

日本電信電話株式会社

私たちのまち

人口	8,169	(前月比 -6)
男	3,931	(-8)
女	4,238	(+2)
世帯数	2,553	(+2)
1月31日現在		